

第2回

筑波大学研究成果 発表フォーラム2012

震災に向き合う最先端研究

平成**24**年**1**月**28**日(土)

13:00~17:20

筑波大学東京キャンパス文京校舎

講義室<134> **収容定員200人**

プログラム

- 12:00~ 受付開始
- 13:00~13:10 挨拶: 山田 信博 筑波大学長
- 13:10~14:10 特別講演「社会における科学・技術の役割」
白川 英樹 筑波大学名誉教授
- 14:10~14:40 東日本大震災復興支援プログラムポスターセッション
(支援プログラムパネル展示)
- 14:40~17:20 最先端研究発表
- 17:20 閉会挨拶: 赤平 昌文 筑波大学副学長(研究担当)

研究者による研究発表

- 「健康長寿社会を支える最先端人支援技術
～ロボットスーツHALの現状と未来～」
山海 嘉之 教授(筑波大学システム情報系)
- 「東北地方太平洋沖地震は何故M9になったのか?」
八木 勇治 准教授(筑波大学生命環境系)
- 「東日本大震災の揺れによる被害はどうだったのか?」
～地震の揺れと被害の関係～
境 有紀 教授(筑波大学システム情報系)
- 「放射線の医学利用～陽子線治療の現状～」
榮 武二 教授(筑波大学医学医療系)
- 「炭化水素産生藻類～被災地復興に貢献する藻類バイオマス～」
鈴木 石根 教授(筑波大学生命環境系)

参加料: 無料

お申込みはこちらのURLよりお願い致します。(先着順200名)

<http://www.osi.tsukuba.ac.jp/~forum2012/>

※お申込みは定員に達した場合、締め切りとさせていただきますので、予めご了承ください。

■お問合せ 筑波大学研究推進部研究企画課(研究成果発表フォーラム担当)

TEL. 029・853・7844, 2936 / FAX. 029・853・6011 / E-mail: forum2012@un.tsukuba.ac.jp

開催趣旨

筑波大学は、これまでの研究活動とその研究力を社会に分かりやすく情報発信するための活動の一環として、「筑波大学研究成果発表フォーラム」を昨年度から開催しています。

今年度のフォーラムは「震災に向き合う最先端研究」をテーマとし、第2回の研究成果発表フォーラムを開催することといたしました。

今回のフォーラムでは、白川英樹筑波大学名誉教授(2000年ノーベル化学賞)の特別講演とともに、筑波大学の最先端の災害関連研究と復興支援プログラムの研究発表・展示を行います。



会場 アクセス T112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
(丸ノ内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩2分程度)